

北海道ゼロ・エミ大賞 平成28年度受賞者

【大賞】 受賞者名

株式会社清都組(石狩市)

取組名

「廃材ベニヤの活用による廃棄物の削減」

取組概要

建設工事で廃棄されるコンクリート型枠ベニヤ板を再利用する画期的なキャンバーフォーム工法(以下「CF工法」という。)を開発し、廃棄物の削減に貢献した。

このCF工法は、型枠ベニヤの廃材を3層パネルにすることで、従来4回程度使い回した後、廃棄されていたベニヤ板を、(同社実績で)工事施工において70回以上使い回し、廃棄物の発生量を従来の1/100に削減したことが高く評価されました。

【優秀賞】 受賞者名

山崎製パン株式会社札幌工場(恵庭市)

取組名

「廃棄物のリサイクル目的別分別化によるゼロ・エミッションの達成」

取組概要

工場をあげて「環境負荷の低減・廃棄物とその処理費用の削減」意識の高揚を図り、廃棄物の分別の細分化と徹底により、廃棄物の削減とリサイクルに貢献した。

分別により、従来廃棄物として処理していた物を、売却出来るようになった結果、売却額が廃棄物の処理費用を上回るという、経済と環境の好循環を形成したことが高く評価されました。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成27年度受賞者

- 【大賞】 受賞者名
株式会社きのとや(札幌市)
取組名
お菓子素材の有効活用等のゼロ・エミに向けた取組
取組概要
お菓子の切れ端部分を利用した製品の開発・販売やエコフィード(食品残さの再資源化)、容器びんの回収、社員教育の徹底など、10年余りの長い期間をかけて、一つひとつの取組を着実に積み上げ、企業として総合的にゼロ・エミを進めていることが高く評価されました。
- 【優秀賞】 受賞者名
生活クラブ生活協同組合 北海道(札幌市)
取組名
共同購入で使用する容器びんの回収・再利用
取組概要
共同購入で組合員に提供する食品・飲料等の容器について、「リユースできるガラスびん」を積極的に採用し、使い捨てから再使用、再生できる容器への転換に取り組んでおり、全国の生活クラブ生活協同組合に普及した先駆的な取組として高く評価されました。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成26年度受賞者

【大賞】 受賞者名

京極発電所上部調整池JV工事事務所(倶知安町)

取組名

希少動植物生息地域における廃棄物発生抑制および自然植生の保全等による環境負荷低減活動

取組概要

・当該調整池周辺には、希少猛禽類・動植物等の生息が確認され、大規模土木工事による環境負荷低減が課題であったため、産廃発生量の大幅縮減、現地で採取の種子による緑化、生ごみのバイオマス発電等により、環境負荷の大幅縮減を達成。

・建設着手から完成までの12年余りの長い期間、ゼロ・エミッションの努力に加え、自然との共生、工事関係者への環境教育等にまで踏み込んで、環境に配慮しながら建設工事に取り組んでいることが高く評価されました。

【優秀賞】 受賞者名

花本建設(株)(旭川市)

取組名

建設現場で発生した伐採木や伐根物の再生化による排出抑制

取組概要

- ・平成8年より、建設現場からの伐採木等の自社による資源化に着手。
- ・伐採木等をチップ化し、ミミズを活用した有機肥料等にすることで、産廃の排出を抑制。

【優秀賞】 受賞者名

北海道コカ・コーラボトリング(株)(札幌市)

取組名

札幌工場から排出される廃棄物の削減・副産物の再資源化100%

取組概要

札幌工場において、平成12年より廃棄物の埋立と単純焼却処理を一掃し、全ての工程等でリサイクルに取り組み、平成13年から10年以上にわたりゼロ・エミッションを達成していることや廃棄物の細分別を進め、リサイクル事業者が利用しやすくしていることが高く評価されました。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成25年度受賞者

【大賞】 受賞者名

恵庭市

取組名

生ごみの分別によるごみの減量化とエネルギー利用

取組概要

生ごみを分別収集し、既存のし尿処理場及び下水終末処理場の設備を活用したバイオガス化処理を行い発電等に利用しているほか、市民による生ごみの水きり努力等により家庭ごみを減量するなど、既存の施設を有効利用したうえで、市民説明による理解と協力によりごみ減量を図っている点が高く評価されました。

【優秀賞】 受賞者名

生活協同組合コープさっぽろ(札幌市)

取組名

コープさっぽろエコセンターを中心とした循環型社会実現への貢献を目指した活動

取組概要

エコセンターを建設し、家庭などから回収した資源物を集め、再生資源として利用するために圧縮したり容積を減らす処理を行うなど、トドックの配送システムを利活用し、確実に回収する制度を作り、資源物としての加工を行っている点が評価されました。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成24年度受賞者

【大賞】 受賞者名

株式会社札幌ドーム(札幌市)

取組名

お客さまと協同した資源循環の実現

取組概要

来場者と協同して分別回収を行い紙カップなどのごみのリサイクルを推進しているほか、天然芝サッカーグラウンドの更新作業の際の芝ごみを分別して砂を再利用するなど、廃棄物の種類に応じた効果的な資源循環に取り組み、来場者へ環境意識の拡がりを図っている点が高く評価されました。

【優秀賞】 受賞者名

よしむら運送店co., ltd(札幌市)

取組名

廃食油のバイオディーゼル精製によるゼロエミ化と循環型社会の構築

取組概要

地域の飲食店や家庭などから排出される食用油を回収し、バイオディーゼル燃料にリサイクルしており、事業者・個人との幅広い連携による取り組みが評価されました。

【優秀賞】 受賞者名

越智建設株式会社(苫小牧市)

取組名

石炭火力発電所から排出される石炭灰の大規模再資源化(路盤材)

取組概要

苫東厚真発電所から排出される石炭灰を利用して、土木資材である路盤材の開発を行い、平成15年より製造販売を行っており、多くの石炭灰を再資源化し有効利用している点が評価されました。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成23年度受賞者

【大賞】 受賞者名

農事組合法人細澤牧場(千歳市)と株式会社アレフ(札幌市)
(連名での受賞)

取組名

牛ふん尿と生ゴミの精製バイオガス化によるリサイクルループの取組

取組概要

牧場から発生する牛ふん尿と食品工場から発生する生ごみを原料としてバイオガスプラントでメタンガスを生産し、それぞれの事業所でエネルギーとして有効活用しており、異業種の連携による新たな資源循環の仕組みとして高く評価されました。

【優秀賞】 受賞者名

株式会社大塚製薬工場釧路工場(釧路市)

取組名

ゼロエミッション達成活動「廃棄物の徹底した排出抑制と再資源化への取組」

取組概要

製造工程から排出される廃棄物を資源化するとともに、生ごみや機密文書についても堆肥化や再生紙の材料として利用するなど、廃棄物の種類に応じた処理に取り組み、平成21年からほぼ100%の再資源化を達成している点が評価されました。

【優秀賞】 受賞者名

株式会社山内組(更別村)

取組名

建設現場から発生する産業廃棄物の再資源化

取組概要

建設現場から発生する廃棄物を自ら再資源化することに取り組み、コンクリート廃材、木くずなどの廃棄物の約90%以上を再資源化している点が評価されました。

【優秀賞】 受賞者名

株式会社常呂町産業振興公社(北見市)

取組名

ホタテの貝殻の加工処理による土壌改良資材化

取組概要

昭和54年から長年にわたり、漁協からホタテの貝殻を購入し、土壌改良資材に加工処理しています。製品は農協を通じて組合員などに販売しており、農協、漁協との連携により地域における資源循環システムを形成している点が評価されました。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成22年度受賞者

【大賞】 受賞者名

大林・伊藤・岩田地崎・丸彦渡辺・中山・田中共同企業体
北洋大通りJV工事事務所(札幌市)

取組名

北洋大通センター新築工事のゼロエミッション化

取組概要

工事中に発生する建設副産物の再利用や、分別活動による混合廃棄物の削減などに取り組むとともに、広域認定制度の積極的活用など、新たな建設廃棄物の再資源化ルートの確立に取り組み、97%の高い再生利用率を達成しました。

【優秀賞】 受賞者名

津別単板協同組合(津別町)

取組名

工場廃材のバイオマス資源としての利用

取組概要

合板製造過程で発生する木くずや排水過程で発生する木質汚泥の燃料化、ボイラーで木くずを燃やしたときに発生する木灰の肥料化などの取組により、廃棄物の排出量を削減しました。

【優秀賞】 受賞者名

北清企業株式会社(札幌市)

取組名

廃石膏ボードのリサイクルによるグラウンド用ライン引き粉の製造・販売

取組概要

建築系廃棄物の中でも処理が難しいとされ、主に管理型処分場へ廃棄されていた廃石膏ボードを破碎分離、特殊製法によりグラウンド用ライン引き粉として再生しました。

【優秀賞】 受賞者名

社会福祉法人清水旭山学園(清水町)

取組名

食品残さ物(生ゴミ)の飼料化への取組

取組概要

地域の29事業所から排出される食品残さ物を、収集運搬し、中間処理の工程を経て養鶏資料として資源化、自家使用することにより、有効活用しています。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成21年度受賞者

【大賞】 受賞者名

道栄紙業株式会社(倶知安町)

取組名

製紙メーカーから排出される残渣物の再資源化によってできた多目的環境資材の製品化

取組概要

再生紙を製造する際に排出されるペーパースラッジを、独自の技術により炭化させることにより多目的環境資材として製品化する取組。

【優秀賞】 受賞者名

サッポロビール株式会社北海道工場(恵庭市)

取組名

再資源化100%継続

取組概要

工場敷地内から排出される副産物・廃棄物の再資源化に平成6年から取り組み、平成10年6月に再資源化100%を達成し、今年で11年目を迎えている。

【優秀賞】 受賞者名

丸利伊丹車輛株式会社(北広島市)

取組名

使用済解体自動車の全部再資源化への取組

取組概要

自動車解体作業において、精緻な解体・素材分別等の独自の前処理工程を構築したことにより、作業時に排出される廃棄物であるシュレッダーダストのリサイクル率を上げる取組。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成20年度受賞者

【大賞】 受賞者名

下川町森林組合(下川町)

取組名

森林バイオマス利用の取組

取組概要

木材の加工工程で発生した端材やオガコ、間伐施業で発生した林地残材などを商品化するとともに、木質資源利用ボイラーの燃料として利用するなど、森林バイオマスを無駄なく利用したゼロエミッションシステムを確立。

【優秀賞】 受賞者名

環境開発工業株式会社エレメント工場(北広島市)

取組名

エレメントカッター機による廃オイルフィルターのリサイクル化

取組概要

これまで焼却処理されていた自動車の廃オイルフィルターを自社が開発したエレメントカッター機により、金属部分とフィルター部分に切断・分離し、約80%を再資源化することで廃棄物の排出量を抑制。

【優秀賞】 受賞者名

株式会社新生ゴム本社工場(北広島市)

取組名

廃タイヤの処理における廃棄物の削減

取組概要

廃タイヤの処理工程から発生するビードワイヤ・ワイヤの金属製廃棄物を自社が開発したタイヤリサイクルシステムにより、ゴムの付着を最小限に抑え、鉄材とした再資源化することで廃棄物の排出量を抑制。

【優秀賞】 受賞者名

日本甜菜製糖株式会社士別製糖所(士別市)

取組名

高脱水ライムケーキの専用散布機における農地散布利用

取組概要

製糖工程の見直しによりライムケーキの発生量を抑制するとともに、発生したライムケーキを農地の土壌改良剤として利用することにより廃棄物の排出量を抑制。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成19年度受賞者

【大賞】 受賞者名

帯広松下電工株式会社(帯広市)

取組名

プラスチック成形における廃棄物の削減

取組概要

プラスチック成形行程で発生するスプールランナー(廃プラスチック)を削減するために、形状を小さくしたり、再び成形材料として使用する技術を導入し、廃棄物の発生を最小限に抑える取り組みを実施。

【優秀賞】 受賞者名

株式会社町村農場(江別市)

取組名

まちむら農場バイオガスプラント

取組概要

自社農場内で発生する家畜排せつ物を嫌気性発酵システムにより処理し、そこから発生するバイオガスを自家発電用エネルギー源に発電し、施設内で利用。また、処理済み排せつ物は有機肥料として自家所有農地に還元。

【優秀賞】 受賞者名

日糧製パン株式会社(札幌市)

取組名

分別及び洗浄作業実施で廃プラスチック類の焼却を削減し、ゼロエミにチャレンジ

取組概要

工場から排出される廃棄物のうち廃プラスチックについて分別の強化、洗浄作業をすることでリサイクル可能な状態にし、焼却処分量を削減。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成18年度受賞者

- 【大賞】 受賞者名
有限会社ラッキーピエログループ(函館市)
取組名
ごみ40%削減及びマイ容器等の推進の取組
取組概要
ラッキーピエロにおいて、消費者にマイ箸・マイ容器の持参を奨励し、容器ごみの発生抑制を行うとともに、店舗から発生する生ごみ・空き缶等の廃棄物の再資源化による排出抑制に取り組んでいる。
- 【優秀賞】 受賞者名
日本新薬株式会社千歳合成工場(千歳市)
取組名
原薬製造における有害性の高い化学物質の使用量及び廃棄物の削減
取組概要
原薬製造工程において、環境負荷の大きな溶媒や試薬類の使用回避と溶媒のメタノールの循環的利用により廃棄物の発生・排出抑制に取り組んでいる。
- 【優秀賞】 受賞者名
トヨタ自動車北海道株式会社(苫小牧市)
取組名
「ゼロエミッション」への全社活動～(埋め立て廃棄物ゼロ化)
取組概要
各生産工程から発生する研磨汚泥などの様々な廃棄物について徹底した再資源化の取組を行い、埋立廃棄物のゼロ化を達成している。
- 【優秀賞】 受賞者名
株式会社木の城たいせつ(栗山町)
取組名
北海道の木を活用した住宅生産における廃棄物ゼロの実践
取組概要
小径材や間伐材の集成材技術による利用や、木くずのバイオマス燃料としての利用など、木材を無駄なく活用した住宅生産により廃棄物の発生抑制に取り組んでいる。

北海道ゼロ・エミ大賞 平成17年度受賞者

【大賞】 受賞者名

いすゞエンジン製造北海道株式会社(苫小牧市)

取組名

機械工場の研磨くず再生化によるゼロエミッションの達成

取組概要

従来、全量を埋立処分していたエンジン加工(研磨)工程で発生する「研磨くず」について、圧縮～切削水除去を繰り返して水分率を下げ、有価物として全量を製鉄業者に売却している。圧縮機を自社で製作するなど、排出抑制に向けた姿勢が高く評価された。

【優秀賞】 受賞者名

イガリ建設株式会社(北見市)

取組名

植生緑化工法による建設廃棄物「すき取り土」の有効活用

取組概要

公共工事等で表土をはぎ取る際に生じる建設廃棄物「すき取り土」について、当該工事現場において加工して植生緑化基盤材として、法面吹付を行っている。廃棄物の排出抑制として、また在来種保存の取組として評価された。

【優秀賞】 受賞者名

カムイ・エンジニアリング株式会社(標茶町)

取組名

間伐材・廃プラスチック類を原料とした再生可能な建築資材の製造

取組概要

地域で発生する建設廃棄物・間伐材・廃プラスチック類を原料に、再生可能な建設資材「カムイウッド」を製造・販売し、その製造工程で排出される端材も100%原料として利用している。事業所での排出抑制だけでなく、地域でのゼロエミッション実現に向けた企業姿勢が評価された。

【優秀賞】 受賞者名

株式会社NTTDコモ北海道(札幌市)

取組名

一般廃棄物、産業廃棄物の全てをリサイクルするゼロエミッションの取組

取組概要

無線基地局(鉄塔)の省資源設計、中継函基礎台の鉄骨化、古ダンボールの再利用により発生・排出抑制を実現している。また、すべての廃棄物の埋立ゼロを目指した徹底したリサイクルの取組(リサイクル業者への処理委託など)が、大企業として範を示すものとして評価された。

【優秀賞】 受賞者名

ニセコ町

取組名

家畜ふん尿、生ごみ及び下水汚泥の堆肥化による地域資源循環型農業の確立

取組概要

従来、家畜ふん尿(畜産農家の庭先で農地還元)、生ごみ(焼却)、下水汚泥(処理委託～焼却)は、地下水汚染や大気汚染など環境に負荷をかける形で処理されてきたが、これらを併せてニセコ町堆肥センターで堆肥化して地域内で利用している。事業所としての排出抑制(下水汚泥の堆肥化)だけではなく、資源の地域循環を目指した取組として評価された。